

UR まど

2018 10
No.243 隔月刊



街に、ルネッサンス



UR都市機構

<https://www.ur-net.go.jp/>

- 団地TOPICS／気になるお店 4・5
 快適団地LIFE 6
 カンタン体操／暮らしの雑学／読者のひろば 7
 UR アンバサダー／彩りレシピ 8

編集・制作 (株)高速オフセット

つながるひろがる 交流の輪

泉北桃山台一丁 (堺市南区)

◎泉北高速鉄道「梅・美木多」駅
から徒歩約4分

“まちのリビング” のような、 開かれた団地を目指して

オープンダンチプロジェクト OPEN DANCHI PROJECT

堺市南部の丘陵地域に広がる泉北ニュータウン。まちびらきから半世紀を迎えたこの地域は、近年、人口減少や少子高齢化といった問題が顕著になってきています。

数多くの団地が建つ泉北ニュータウン再生のため、UR都市機構は堺市と連携し「若者世代が『住んでみたい』と魅力を感じるまち」「将来にわたって多様な世代が快適に住み続けられるまち」を目指した取り組みを進めています。

取り組みのひとつである「OPEN DANCHI PROJECT」は、団地に新たな役割を与え、地域住民が集える魅力的な

場をつくることを目的としています。「『閉鎖的』『古い』というイメージを持たれがちな団地を“まちのリビング”のように感じていただき、団地住民だけでなく、周辺地域の方も集まって団地の良さを見ていただきたいと思います」と話すのは、UR都市機構の松尾知佳さん。「にぎわいの主役は地域で暮らす人々。URの主導でスタートしましたが、いずれは地元のメンバーが中心となって継続していけたら」とも話します。団地のにぎわいづくりから、地域の活性化へ——これからの団地が目指すべき姿はここにあるのかもしれません。



↑カラッとした晴天の下、団地内外から約200人の方が来場しました

団地の新たな魅力を発信 MOMONOマルシェを開催

OPEN DANCHI PROJECTとして初めてのイベントとなる「MOMONOマルシェ」を8月18日に開催。午前9時のオープンを合わせて団地内外から数多くの来場者が訪れ、会場の集会所前広場を中心に団地全体がにぎわいました。

採れたての新鮮野菜販売からコンフィチュールの専門店、草木染めのワークショップなど、堺市内の農家や飲食店を中心とした10店が出店。「これまで住民同士で交流する機会があまりありませんでしたが、このマルシェがいいきっかけになるので

は」という団地住民の方や、「こういう取り組みがあるとわかって団地に対するイメージが変わりました」「無農薬の新鮮野菜を買える機会が少ないので、こういう場があるとうれしい。今後も継続的に参加したいと思います」という団地外の方まで、来場

者にとって団地の新たな魅力を感じられるイベントになりました。

9月は夕暮れ時に開催するなど、趣向を変えながら毎月1回開催される予定のMOMONOマルシェ。団地の魅力探しに足を運んでみてはいかがでしょうか。



↑「このズッキーニはどうやって食べたらおいしいの？」こうしたコミュニケーションが生まれるのもマルシェの魅力のひとつです



↑本格的なホットドッグに、パパもボクも大満足



↑タマネギの皮を染料に使った草木染めのワークショップ。着古したシャツも可愛らしい柄で復活！



↑広場に設置したハンモックは子どもたちに大人気でした



美団地

KANSAI

団地の哀愁

美しい団地には、“こだわり”がいっぱい。歴史やデザイン、四季折々の美しい風景を毎号お届けします。



桃山南(京都府京都市伏見区)



高の原駅前(京都府木津川市)



醍醐石田(京都市伏見区)

◎ 団地の美を発信しています！



@vidanchi_kansai



@vidanchikansai



vidanchi.jp/kansai



水漏れ・断水・停電などのトラブルがあった場合
24時間緊急事故時の連絡先

緊急事故受付センター TEL.06-6969-2151